



信頼で世界をつなぐ

北海道

開発途上国



▲道路表面にできた穴(ポットホール)の修繕方法を学ぶ

課題別研修 道路維持管理

急速に経済発展が進んでいる開発途上国では、自動車の利用が増えて道路の整備が急がれています。しかし、道路が壊れたり古くなったりしても、維持管理が後回しになることが多く、結果として大きな修理費がかかってしまいます。そのため、途上国の技術者が北海道の現場を訪れ、道路や橋の点検方法、修理や保全の進め方、長期的に費用を減らす考え方を学んでいます。

実施団体

(一社)北海道開発技術センター【dec】

(公社)北海道国際交流・協力総合センター【HIECC】

すべての人・モノが安全かつ自由に移動できる世界へ
道路をより一層長く使うための維持管理技術を学ぶ





信頼で世界をつなぐ

北海道

開発途上国



▲北海道美唄市峰延2号ため池の説明に耳を傾ける研修員

課題別研修

効果的な参加型灌漑管理と
水利組織の能力強化

農作物が安定して収穫されるためには、何よりも水の確保が重要です。そのため、日本では国や地方自治体が灌漑水路を整備し、その維持管理を農家を中心とした組織（土地改良区）が担っています。途上国では、灌漑施設を作ったものの、その効果的な利用や維持管理を行うための組織（水利組織）が十分育っていません。途上国の灌漑行政官は、こうした状況を打破するため、北海道の水田地帯を訪問し、各地の土地改良区の仕組みを学んでいます。

実施団体

大雪土地改良区

（一財）日本国際協力センター北海道支所【JICE】

食料の安定的な生産により貧困と飢餓をなくす
限られた灌漑用水を効率的に使うためのしくみづくり





信頼で世界をつなぐ

北海道

開発途上国



▲旭岳ビジターセンターにて、大雪山国立公園の地形や自然環境について

課題別研修

持続可能な観光資源
管理・開発(自然資源)

実施団体 (公財)はまなす財団

開発途上国での観光開発は、地域の人々の仕事の機会を増やし、暮らしを豊かにする良い面があります。一方で、政府や行政機関が政策や制度として十分なルールづくりや合意形成を行わないまま進めると、環境が壊れ、文化や自然遺産が失われ、地域に住む人々の生活に深刻な影響が出るおそれもあります。この研修では、冬の北海道を事例として、その自然資源を守りながら適切に管理し、それらを観光に活かしてきた日本の取り組みを紹介します。そして、地域の社会や文化を尊重しつつ、長期的に続けていける持続可能な観光開発をどのように実現していくかを考えます。

途上国の経済成長を促すために
自然資源を活用した持続可能な観光開発を学ぶ



北海道

開発途上国



▲函館附属小学校での研修の様子

課題別研修 児童の学び改善のための 初等算数教授法

JICA北海道(札幌)の研修「児童の学び改善のための初等算数教授法」では、子どもが自分で考えて学ぶ授業づくりを学びます。指導案や教材を作ったり、模擬授業をしたりしながら、算数の授業をもっと分かりやすく、楽しくする方法を身につけます。小学校での実習もあり、授業の流れを体験し、自分の国の教育にどう生かすか考える力を育てることを目指しています。

実施団体 北海道教育大学
(一財)日本国際協力センター北海道支所【JICE】

生徒が生き生きと輝く、質の高い教育のために
楽しい算数学習を通じ、問題解決力や論理的思考力を養う。



信頼で世界をつなぐ

北海道

開発途上国



▲ドローン実習をする研修員

課題別研修 森林リモートセンシング

実施団体 酪農学園大学

世界では、森林の減少が進み、地球温暖化を防ぐうえで重要なCO₂吸収源が失われつつあります。多くの国では、森の状態を調べる専門家や技術が不足しています。この研修では、衛星画像を使って森林の変化を読み取る「リモートセンシング」や、地図作りに使う「GIS」の基礎を学びます。参加者は自国の森林データを作り、森を守るための計画に役立てる技術を身につけることを目指します。

気候変動の脅威に立ち向かうために
CO₂を吸収する森林保全技術を磨く



北海道

開発途上国



▲札幌市水道局職員や工事受注会社の方からの説明に耳を傾ける研修員

課題別研修 上水道施設技術総合

世界では、多くの人が安全な水を得ることができず、不衛生な水が原因で死亡する人や下痢などの原因で栄養不良に陥る子供たちが後を絶ちません。また、毎日遠くの水場まで水汲み労働をしている人も多く見られます。人々の健康のため、さらには過酷な労働から解放するため、水道の整備は喫緊の課題です。札幌市は、明治以降の急速な都市化により水道網の整備が早急に求められました。その経験と技術を基に、途上国の水道事業者に対する技術支援をしています。

すべての人々へ安全な水を届けるために
質の高い水道施設と事業運営を学ぶ

実施団体

札幌市水道局

(公社)北海道国際交流・協力総合センター【HIECC】



信頼で世界をつなぐ

北海道の教職員

開発途上国



▲ザンビア現地研修にて学校交流の様子

開発教育支援事業 教師海外研修

JICAの「教師海外研修」は、小中高校特別支援の先生方が1週間程度、開発途上国で教育や暮らしを学び、帰国後に先生方の体験をもとに教材を作り、児童・生徒が世界の課題を“ジブンゴト”として考えられる授業を実践するプログラムです。授業の成果は一般公開の報告会で共有され、他の学校や地域にも広がっていきます。

対象者 道内の小・中学校、高校、特別支援学校の教員

海外で感じたことを、
北海道の子どもたちにも届ける





信頼で世界をつなぐ

北海道の学校

開発途上国



▲書道体験の様子

文化も言語も越えてつながる 未来の国際協力への第一歩

開発教育支援事業 JICA研修員学校訪問

JICA北海道では、世界各地から来日した研修員が学校を訪れ、児童・生徒と交流する「JICA研修員学校訪問」を行っています。研修員は自国の文化や暮らしを紹介し、子どもたちも日本の遊びや学校生活を伝えます。ことばや文化の違いを越えて理解し合う体験は、開発途上国への興味を高め、国際理解から国際協力へとつながる学びの第一歩になります。

対象校

JICA札幌センターから自動車での移動時間が
1時間30分以内の小・中学校、高校、特別支援学校





信頼で世界をつなぐ

北海道の学生

開発途上国



▲ アフリカを体験しながら学んだ高校生たち

開発教育支援事業 国際協力体験 プログラム

JICA北海道では、若い世代が国際協力を体験的に学べる「国際協力体験プログラム」を、小学生から高校生を対象に、それぞれの年代に合わせて実施しています。ワークショップを中心に、開発途上国の文化や暮らしを五感で感じ取りながら、世界の課題を自分ごととして考えることを目指します。活動では「think globally, act locally（グローバルに考え、ローカルに行動）」の姿勢を大切にしています。

対象者 北海道の小・中学生、高校生

実施時期 夏休み・冬休み

世界の課題が
ジブングトに
なる体験を、北海道の次世代へ



北海道民

開発途上国



▲ JICA研修員ともふれあえる大人気のイベントです

広報・イベント
世界ふれあいひろば

JICA北海道(札幌)では、国際協力を身近に感じられる体験型イベント「世界ふれあいひろば」を開催しています。このイベントでは、JICAの取組みに触れ、道内の国際協力団体とつながることができます。開発途上国からのJICA研修員と交流できるプログラムや、館内を巡るウォークラリー、フェアトレード商品の紹介など、さまざまな体験を通して世界にふれあえます。楽しさに加え、世界への理解が深まるイベントです。

国際協力を身近に感じる、 世界体験イベント

実施期間 毎年8～9月頃に開催



信頼で世界をつなぐ

北海道札幌市

カンボジア



▲現地で開催した技術講習会の様子。受講したみなさんが真剣に取り組んでいます。



草の根技術協力事業
車いす整備・修理技術及び
広報技術向上による
女性障がい者の
自立支援プロジェクト

車いすを長く、そして安全に使い続けてもらえるよう、障がいのある方や施設スタッフ、ご家族・ご友人が、自分たちで車いすの整備や簡単な修理ができるようになるための技術を学びました。

さらに、広報スキルを維持・向上させる取り組みも行い、ホームページの活用によって売上アップにつなげるためのノウハウも身につけることができました。



車いす整備技術で 障がい者の自立を支援

実施団体 (特活)「飛んでけ!車いす」の会



信頼で世界をつなぐ

北海道札幌市

バングラデシュ



▲小学校で写真や模型をみせながら説明している様子



草の根技術協力事業
口腔衛生指導専門医による
地域住民の健康増進事業

バングラデシュのシレット州では、家計が厳しいために学校へ通えなかったり、健康管理に気をつける余裕がない子どもや農民が多くいます。実は、歯槽膿漏や虫歯は放っておくと、血管や関節の病気まで引き起こすことがあると言われています。そこで私たちは現地の歯科医師の皆さんと協力し、正しい歯みがきの方法や、健康を守るために毎日できる習慣を楽しく身につけてもらう活動に取り組みました。

口腔衛生指導専門医による 地域住民の健康増進事業

実施団体 (特活) ジョロナ





北海道北広島市

東ティモール



▲現地作業員との道路斜面对策工事の様子

中小企業・SDGsビジネス支援事業
”道路斜面災害防除事業にかかる
普及・実証・ビジネス化事業”

東ティモールは、2002年の独立以降、わが国ODA等で道路整備が行われてきましたが、急斜面の地形や脆弱な地質による不安定な箇所が多く、降雨による落石崩壊等により道路が寸断されるという問題に悩まされてきました。ヤマコウ工業は、日本での経験を活かし現場の地形に最適な工法で斜面防除の施工を行い、その効果を実証しました。

日本の防災技術がASEANで
一番若い国の交通を守る

実施団体 (株)ヤマコウ工業



信頼で世界をつなぐ

北海道

開発途上国



▲ 地域の特徴を活かした町づくりをみんなで考えていきます

課題別研修
参加型地域開発の
ための地方行政強化

世界の多くの国々では、貧困削減のための効果的な手段として地方分権が進められていますが、自治体の財政不足などから、住民のニーズに十分応えられない事業が生じてしまうという問題も広く見られています。このプログラムでは、各国の自治体職員や地方開発を担う中央省庁の職員を招き、北海道の各自治体が培ってきた経験を通して、住民の参加による地域開発計画の進め方や、地域の特徴を生かしたコミュニティづくりについて学びます。

実施団体

(公財)はまなす財団

(一財)北海道国際交流センター【HIF】

持続可能で住みよい街をつくるために
住民や企業との幅広い連携



信頼で世界をつなぐ

北海道

アフリカ



▲コープさっぽろで地元野菜の販売コーナーを視察。(滝川市)

課題別研修
仏語圏アフリカ
市場志向型農業振興
—SHEPアプローチ—
(行政官)

世界で貧しさに苦しんでいる人たちの多くが農業に携わっていますが、昔ながらの農業から抜け出せず、買い手の求めるものを十分把握しないまま、育て、収穫し、市場で売る、そして、結果としてより高く売る機会を逃している場合も多くみられます。こうした状況を変え、販売することをより意識した農業、つまり、市場志向型農業の考え方を取り入れることで、何を作ればより収入が上がるのかという農業経営を広めるための取り組みを行っています。

所得を伸ばし豊かさを実現するための農業
「売れる」作物を生産し販売する

実施団体 (一社)滝川国際交流協会【TIEA】





信頼で世界をつなぐ

北海道札幌市

ザンビア



▲プレスクールでリトミック指導をしているところ

JICA海外協力隊
村上明子 さん



ザンビア派遣
職種: 音楽
札幌市出身

配属先

ザンビア エヴリン・ホン短期大学

ザンビアの短期大学では、音楽学部が拡大する一方で、質の高いレッスンを行える指導者が不足していました。

村上隊員は、生徒一人ひとりに寄り添った演奏指導を実施し、発表会や試験など、生徒が人前で演奏する場も提供しました。また、生徒指導だけではなく、地域の学校などで音楽を届ける活動に積極的に行いました。

ザンビアの子どもたちにも
リトミックを通じて楽しい音楽教育を





信頼で世界をつなぐ

北海道室蘭市

モロッコ



▲ 妊婦に保健指導しているところ

JICA海外協力隊
大高悠里さん



モロッコ派遣
職種: 助産師
室蘭市出身

モロッコでは、保健センターにおける母子保健サービスの指導体制や人材育成の強化が求められています。大高隊員が派遣され、母親学級や産前・産後健診の質向上に取り組みました。妊婦さんが笑顔で「シュ克蘭(ありがとう)」と声をかけてくれる瞬間は、何よりの励みとなりました。

配属先

モロッコ フキベンサラ県保健支局

モロッコのお母さんが安心してできる未来を、
母子保健を学びと対話で支える力へ





信頼で世界をつなぐ

北海道札幌市

メキシコ



▲ 地域の人からメキシコ料理を教わる交流のようす

JICA海外協力隊
長谷部幸子 さん



メキシコ派遣
職種：家政・生活改善
札幌市出身

メキシコでは、料理の技術は学べても栄養の知識が身につけにくいという課題がありました。長谷部隊員は、栄養のワークショップや食育活動、地域の食文化を学ぶプロジェクトなどを行い、高校の生徒たちや地域の人たちが健康や食の大切さを理解できるよう支えました。

配属先

メキシコ 国立職業技術高校サンファンデルリオ校

メキシコの学生と地域の人々へ 食文化と健康をつなぐ活動





信頼で世界をつなぐ

北海道北斗市

ブラジル



▲子どもの日に鯉のぼりを作った日の様子

JICA海外協力隊
川村知里さん



ブラジル派遣
職種：幼児教育
北斗市出身

配属先

ブラジル サウージ学園

日系の子どもたちが日本語や 日本文化に触れる機会を

ブラジルの日系社会では、日本語や日本文化への関心が世代とともに薄れつつあることが課題となっています。日本的礼儀や文化を教育に取り入れてきたものの、継承が難しく、子どもたちの学ぶ機会が減少しています。川村隊員は、日本の歌や遊び、行事を通して文化への興味を育て、地域との交流を深める活動を行いました。



北海道札幌市

モンゴル



▲高齢者の健康教室の様子

JICA海外協力隊
笹原理司 さん



モンゴル派遣
職種：理学療法士
札幌市出身

モンゴルでは、けがや病気でリハビリが必要な人が増えている一方、経験のある理学療法士が少なく、治療の質を高めることが大きな課題になっていました。笹原隊員が派遣され、現地スタッフと一緒に患者さんを支えながら実践的なリハビリの方法を伝えたり、地域の健康に対する啓発活動などを実施しました。

配属先

モンゴル リハビリテーション病院

モンゴルのリハビリに 学びと技術の種まきを



信頼で世界をつなぐ

北海道北広島市

コスタリカ



▲リサイクル廃棄物の回収状況の様子

JICA海外協力隊
北條成二郎さん



コスタリカ派遣
職種：環境教育
北広島市出身

コスタリカでは廃棄物処理法により、リサイクル推進が求められる中、ごみ収集や分別作業の効率化が課題となっています。市民への意識向上も必要とされ、北條隊員がリサイクルの出し方改善や市民啓発を進め、分別作業の効率化に貢献しました。

配属先 コスタリカ グレシア市役所

コスタリカで、リサイクル廃棄物を 資源に変える 効率化の一步



信頼で世界をつなぐ

北海道恵庭市

ブラジル



▲グラウンドや道具を大切にする気持ちを選手に伝える

JICA海外協力隊

飯田康史 さん



ブラジル派遣
職種:ソフトボール
恵庭市出身

ブラジルの日系文化体育協会では、行政と連携して「社会プロジェクト」と呼ばれる貧困地域向けの「野球・ソフトボール」を通じた青少年育成事業を行っています。飯田隊員がソフトボールの技術の他、「規律」や「協調性」など、プレー以外の大切さも選手たちに伝えました。

配属先

ブラジル マリリア日系文化体育協会

ブラジルの子どもたちへ、 礼儀と協調の心をソフトボールで





信頼で世界をつなぐ

北海道富良野市

パラオ



▲バスケの授業をする様子

JICA海外協力隊
山本有紗さん



パラオ派遣
職種：小学校教育
富良野市出身

パラオでは体育のカリキュラムは整備されたものの、体育科教諭が体系的な授業運営や指導法を学ぶ機会が少ないことが課題となっています。山本隊員が現地に派遣され、同僚の教員と協力し生徒が楽しく授業を受けられるように、体育教育の改善に取り組みました。

配属先 パラオ カリキュラム指導局

パラオの子どもたちへ より伝わる体育の授業を





信頼で世界をつなぐ

北海道小樽市

カンボジア



▲選手にサッカーの指導をしている様子

JICA海外協力隊
滝井淳史さん



カンボジア派遣
職種：サッカー

カンボジアではサッカー人気が高まる一方、技術指導や礼節・協調性を教えられるコーチが不足しており、若い選手の育成体制が課題となっていました。滝井隊員はユースアカデミーでU18・U15などの選手を指導し、基礎練習の改善や技術指導、コーチへのアドバイスをを行いました。また、学校巡回や地域クラブへの指導にも取り組み、子どもたちが継続して練習できる環境づくりに貢献しました。

配属先

カンボジア クラチェ州教育局スポーツ課

カンボジアの子どもに サッカーで技と心と健康を





信頼で世界をつなぐ

北海道

開発途上国



▲大谷地第一町内会の夏祭りにて

イベント・広報 研修員地域交流

開発途上国から来日し技術を学ぶJICA研修員が地域の皆さんと交流するプログラムです。お互いの暮らしや考え方が学べるだけでなく、自分の地域の魅力も伝え合えるのが特徴です。言葉や背景のちがいを越えて、新しい視点に出会えるチャンスです。

実施団体 各自治体・教育機関・地域団体・市民団体

JICA研修員があなたの地域へ



北海道札幌市

ネパール

安全な水を ネパールの家庭に



▲漏水時の対応をネパールにて現地水道職員に指導している様子



草の根技術協力事業
ポカラ市給配水管理業務の
体系化を目指した
技術協力事業

ネパールのポカラ市では、水道管の老朽化により、地域によっては週に数日しか水道が使えない状況が続いています。さらに雨季には水道水が濁り、飲むと体に危険が及ぶこともあり、住民の大きな課題となっています。こうした問題を改善するため、札幌市水道局はネパール水道公社と協力し、漏水対応の手順書を新しく作成。現地の水道職員のみなさんが適切に対応できるよう、技術力の向上にも取り組みました。また、水質管理の計画も見直し、毎日のチェックが確実に実行される仕組みづくりも進めています。これらの取り組みにより、ポカラ市で安全で安定した水を届けるための体制づくりが着実に前へ進んでいます。



実施団体

札幌市水道局

(公社)北海道国際交流・協力総合センター【HIECC】



信頼で世界をつなぐ

北海道

コスタリカ



▲洞爺湖有珠火山マイスターの取り組みから学ぶ研修参加者



草の根技術協力事業
コスタリカ国観光地である
ポアス火山周辺における住民主体の
“火山マイスター”
(火山減災リーダー)の育成

コスタリカ共和国のポアス火山は観光地として有名ですが、火山活動が活発で近年においても噴火を繰り返しています。一方で、住民の防災意識や取り組みは十分とはいえず、火山災害への備え及びリーダーの育成が課題となっています。そこで、住民主体で火山のリスクと恵みを理解し、観光客にも啓発を行う「火山マイスター（減災リーダー）」を育成する仕組みづくりを支援し、安全で持続可能な観光地づくりを目指しています。

実施団体 北翔大学

協力機関 (特活)火山防災推進機構

ポアス火山周辺における 住民主体の火山マイスター—育成支援





信頼で世界をつなぐ

北海道

ジョージア



▲事業関係者とのトンネル視察



草の根技術協力事業
ジョージア国道路トンネル管理の
高度化推進プロジェクト

ジョージアは国際的な物流の中心地として発展するために、国を南北につなぐ大きな輸送ルートの整備を進めています。その一環として長大トンネルの建設等が進められていますが、トンネルを含む道路施設の体系的な維持管理が十分ではなく、地域の安定的な発展及び交通の安全のためには適切な管理体制を整備することが求められています。本事業では、道路トンネル管理の高度化を実現するために、トンネルの台帳・トンネル点検ガイドラインの整備及び道路維持担当職員の能力向上を目指します。

実施団体 (一社)北海道開発技術センター【dec】

トンネル管理の高度化支援による 道路安全の確保・地域の発展に貢献





信頼で世界をつなぐ

北海道

ザンビア



▲プロジェクト対象校にてWASH展示発表会を実施



草の根技術協力事業
ザンビア国子どもと若者の
参加型アクションリサーチによる
地域に根差したWASH
(水、トイレ、衛生)
モデルの共創

ザンビア国の都市周縁部では水・衛生(WASH)環境が不十分で、コレラなど感染症が頻発し、特に子どもの健康に深刻な影響を与えています。一方、これまでの対策は大人中心で、地域の人々の主体的な参加が不十分でした。そこで本事業は、子どもや若者が中心となり、地域の人たちと協力して、水やトイレの問題を見つけ、解決に向けて行動できるようにすることを目指します。小学校での教育、課題の調査、改善計画づくりと実行を通して、地域全体の意識と行動を変えていく取り組みです。

配属先

北海道大学 大学院保健科学研究院 人類生態学研究室

子どもと若者がつくる、 地域の水・衛生プロジェクト





信頼で世界をつなぐ

北海道

ウガンダ



▲縫製技術を学ぶカパリス小学校生徒



世界の人びとのための
JICA基金活用事業
布ナプキンの縫製クラブ活動の
樹立と生理衛生教育の推進

ウガンダでは女性の生理に触れることは社会的にタブーとされています。一方で女子生徒はナプキンを用意できず、生理中は学校に通えなくなる問題が起きています。本事業では、生理の自己管理能力を高めるため、布ナプキンの縫製技術を学び、先輩から後輩へ継承するクラブの活動を支援しています。また、生理のサイクルを正しく理解し望まない妊娠を防ぐ教育も行い、女の子が早婚や若年妊娠に追い込まれる現状を変えると同時に、教師や地域の大人にも理解を広げ、女の子が自立できる環境をつくることを目指しています。

生理衛生教育と縫製技術で 女の子の未来を守る

実施団体 (特活) 函館アフリカ支援協会【HASA】





信頼で世界をつなぐ

北海道札幌市

カザフスタン



▲ふ化器(浮上槽)で安定的な水量と酸素量を確保しながら稚魚を飼育。



中小企業・SDGs
ビジネス支援事業

カザフスタン国さけます用ふ化
関連資材普及にかかる
ニーズ確認調査

フラット合成株式会社はサケマスふ化器のメーカーです。北海道で培ったサケマスふ化管理技術を強みに、高い稚魚の生存率・ふ化率を誇るふ化器を活用し、カザフスタンで技術指導と製品販売を実施します。稚魚の生存率とふ化率を60%から90%へ向上させ、現地政府が掲げる養殖生産量拡大計画への貢献と、新たな販路開拓を目指します。

カザフスタンで養殖サケマス稚魚の
生存率とふ化率を現在の60%から
90%に向上させることを目指す

実施団体 フラット合成(株)





北海道小樽市

モンゴル



▲ウランバートル近郊の国道に全長60mの木製防雪柵を設置し効果を実証中。



中小企業・SDGs
ビジネス支援事業

モンゴル国
木製高性能防雪柵を活用した
交通安全対策等に関する
ビジネス化実証事業

モンゴルでは吹雪による交通事故や通行止めが頻発し、冬期道路対策が課題となっています。防雪柵分野で国内シェア70%を誇る理研興業は、その技術を活用し交通障害の解決を目指します。さらに間伐材を用いた防雪柵で森林資源の有効活用と苗木保護を図り、SDGsにも貢献します。

実施団体 理研興行(株)

現地枯木を活用した防雪柵で モンゴルの交通障害を防止





信頼で世界をつなぐ

北海道札幌市

インドネシア



▲デンパサール中学校校庭に浸透井戸とポーラス管を設置



中小企業・SDGs
ビジネス支援事業

雨水による浸水被害軽減の
ためのポーラスコンクリート
製品導入に係る
ビジネス化実証事業

実施団体 北海道ポラコン(株)

北海道ポラコンは、透水性の高いポーラスコンクリートを用いた雨水処理工事を現地中学校で実施しました。以前は大雨のたびに校内が浸水し、排水に3~4日を要して休校となることもありました。2025年11月の豪雨では腰の高さまで浸水しましたが、導入後は24時間で水が引き、浸水軽減効果を実証。学校関係者から感謝の声が寄せられました。現地法人化を目指し活動を継続しています。

都市型洪水に強い環境を実現し、
子ども達が安心して学校に通える毎日へ



旭川市・苫小牧市

開発途上国



▲地域のイベントに出展し、JICAを身近に感じてもらう

「地域のJICA窓口」として、**地域とJICA、北海道と開発途上国をつなぐ**

国際協力推進員
旭川デスク/苫小牧デスク

国際協力推進員は、「地域のJICA窓口」として、地域の人とJICA、北海道と開発途上国をつなぐ役割を担っています。JICA海外協力隊に参加したい地域の方から、開発途上国について知りたい学校、海外展開したい企業、開発途上国の課題解決に貢献したい自治体・大学など、様々な方の声を聞き、JICAに、開発途上国につなげています。



信頼で世界をつなぐ

北海道民

開発途上国



▲自然光と木の温もりが調和した、明るく落ち着いた店内

JICA北海道(札幌)
レストランカフェ
地球こうさてん

JICA北海道(札幌)1階の『レストランカフェ・地球こうさてん』は、世界の料理を気軽に楽しめるレストランです。人気の「地球ランチプレート」では、各国の味をワンプレートで味わえます。食事を通じて20円が開発途上国の給食支援となるTable For Twoメニューのほか、フェアトレードのコーヒーなどの販売も行っています。国際協力をより身近に感じられる場所として、幅広い層の皆さまにご利用いただいています。

楽しみながら世界を知り、
食べ、交流できるレストラン